

ISL Conference Proxy 4.2.9 (2016.6.30)

【ISL Conference Proxy 4.2.9】

● 修正事項

- ◆ セキュリティ強化のため、OpenSSL のバージョンを 1.0.1t に変更しました。
- ◆ パケット生成のプロセスやデータベースの処理速度の改善によりパフォーマンスが向上しました。
- ◆ レコーディングファイルを ISL Conference Proxy のサーバー内に自動保存できるようになりました。
- ◆ セキュリティ強化のため、プロダクトログインページのログインに以下の機能が追加されました。
 - パスワードの入力回数に制限をかけられるようになりました。
 - パスワードに有効期限を設定できるようになりました。
 - 初回ログイン時に、必ずパスワードを変更させることができるようになりました。
 - [パスワードを忘れた場合]により発行されるメール内の URL の有効期限が 30 分に設定されました。
- ◆ プロダクトログインページおよび管理画面へのアクセス結果が記録されるようになりました。
- ◆ 管理画面からユーザーを選択してプロダクトログインページを開くことができるようになりました。

● 変更事項

- ◆ プロダクトログインページでグルーピングを行っている「共有ユーザー」の情報を表示するには、管理画面で以下の設定が必要です。

Security > User can view list of users in own domain = Yes

● 制限事項

- ◆ ISL Conference Proxy サーバー内にレコーディングファイルを自動保存する機能を有効にすると、Mac 端末で ISL Light Desk が起動できなくなります。
- ◆ 管理者のログインパスワードのリセット（すべてのプログラム > ISL Conference Proxy > 「Reset admin password」）実行後は、手動でサーバーの再起動を行う必要があります。
- ◆ プロダクトログインページの履歴から[エクスポート]ボタンで出力した CSV ファイルは、escape 関数で変換が行われています。（unescape 関数で変換を行うことで日本語で表示できます）

◆ プロダクトログインページの ISL AlwaysOn の画面に関する設定 (Configurariion > ISL AlwaysOn) 内のうち、以下の設定はデフォルトではご利用いただけません。

- User can use actions functionality (「その他」の非表示)
- User can use files functionality (「共有ファイル」の非表示)
- Hide WakeOnLan functionality (「WOL 送信」ボタンの非表示)

これら機能をご利用いただく場合は、ISL AlwaysOn のプロダクトログインページのバージョンを「2」に変更していただく必要があります。(詳しくは常駐接続 (ISL AlwaysOn) のマニュアルをご参照ください)

【ISL Light 4.0.4、ISL Light Desk&Client 4.0.2】 for Windows

● 新機能

- ◆ ワンタイム接続専用のプログラム（ISL Light Desk、ISL Light Client）をリリースしました。オペレーターおよびクライアントの両方で専用のプログラムを使用している場合は、以下の機能が利用できます。
 - ビデオチャットおよび音声チャット
 - 遠隔プリント
- ◆ ISL Online の動画再生プログラム、ISL Player が 4.0 にバージョンアップしました。
- ◆ ISL Light 4 のインストールおよびログイン画面のロゴ画像が変更できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ ISL Light 4 の上書きインストール実行時に表示される確認メッセージを非表示にしました。
- ◆ 一部の環境で、Mac 端末に常駐接続（高速接続）で接続を行った際にデスクトップ共有が行われないことがあった問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、自動レコーディングを有効にした状態で管理者権限で UAC を有効にしている端末に接続を行うと、共有画面が表示されない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ISL Light 4 は、ビデオチャットおよび音声チャットに対応していません。
- ◆ ヘッドセットおよびカメラを使った会話はオペレーターおよびクライアントが Windows PC の場合のみご利用いただけます。
- ◆ 設定内の[基本設定] > [デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する]は利用できません。
- ◆ 設定内の[詳細設定]は利用できません。
- ◆ ISL Light 4 から接続を行った場合と、ISL Light Desk から接続を行った場合では、画面共有時のツールバーが異なります。
- ◆ 接続される側が Windows PC で、ISL Light Client から接続を行った場合は接続される側にコントロールバーは表示されません。
- ◆ クライアントが ISL Light 4 からワンタイム接続を行った場合、管理者モードは利用できません。
- ◆ 共有画面（ISL View）上へのドラッグ&ドロップによるファイル転送は、ISL Light 4 から接続を行った場合のみご利用いただけます。
- ◆ 管理者モードでご利用中、1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面(ISL View)が更新されない現象が発生します。（一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。）（2017.3.8 追記）
- ◆ ファイル転送によるフォルダの「置き換え」はクライアントが Mac PC の場合は利用できません。

- ◆ クライアントが Mac (ISL Light 4.0.4 あるいは ISL AlwaysOn 2.2.3 を利用中) の場合、ファイル転送で送信した「フォルダ」はゴミ箱に移動できません。
- ◆ 遠隔プリントの機能は Windows PC でオペレータが ISL Light Desk、クライアントが ISL Light Client を使って接続を開始した場合のみご利用いただけます。
- ◆ 接続先の OS が Windows 8、8.1、10 の場合は「Ctrl」+「Esc」のショートカットでフルスクリーンを実行した際に、接続先の画面がモダン UI に切り替わります。
- ◆ オペレータ PC の OS が Windows 8、8.1、10 で、かつ管理者権限（または Administrator 権限に昇格したグループのメンバー）でログインしていた場合は、常駐接続を行った際にデスクトップ共有開始直後に自動で「管理者モード」および「セッション再接続」が有効になります。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 には対応しておりません。
- ◆ Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012R2 では、デスクトップ以外（モダン UI 上など）に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません（ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。）
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はございません。（メッセージが表示されますが続けて入力できます）
- ◆ ISL Light 4 から接続した場合は、常駐接続（ISL AlwaysOn）の MAC アドレスによるアクセスフィルタ条件は適用されません。
- ◆ セッション転送はセッションの転送先が Mac の場合ご利用いただけません。
- ◆ セッションの転送先が Windows の場合、起動するオペレータ用のプログラムは ISL Light Desk 4.0.2 となります。
- ◆ [システム情報] > [開く]の機能はクライアントが ISL Light 3.5.6 を使用している場合はご利用いただけません。
- ◆ [システム情報] > [ログ (Client)]の機能はクライアントが ISL Light 3.5.6 を使用している場合はご利用いただけません。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

※補足

ISL Light 4 の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light 4 の常駐接続の制限事項については、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

【ISL Light 3.5.6】 for Windows

※前回リリース時からプログラムに変更はありませんが、プラグインの更新により一部制限事項が解消されました。

● 修正事項

- ◆ ISL Player のクイックスタート画面で「インストールする」をクリックすると、エラーが表示されてインストールできない問題を解消しました。
- ◆ ワンタイム接続で Mac 端末に対してデスクトップ共有を行うと、壁紙表示が無効になる問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ Windows XP で、[設定]→[音声設定]画面で音量を変更してもメインウィンドウの音量に反映されません。
- ◆ ISL Light の画面共有ウィンドウ上でレコーディングを停止すると「見る」ボタンが表示されますが、現状では、再生ソフト(ISL Player)がダウンロードされるだけで、ファイルは自動的に再生されません。ファイルを再生するには ISL Player を起動し、メニューから直接ファイルを開く必要があります。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ Microsoft Windows Server 系 OS でのビデオチャットおよび音声チャットはサポートしていません。
- ◆ 「コンソールウィンドウ (コマンドプロンプト) の表示」にチェックを入れている状態で、Windows 7 32bit 上のコマンドプロンプトを実行すると異常終了します。
- ◆ 遠隔プリンタの利用時は、リモート PC に管理者権限でログインしている必要があります。
- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 には対応しておりません。
- ◆ Windows 8、8.1、10 では、デスクトップ以外 (モダン UI 上など) にホワイトボードによる書きこみを行うことはできません。
- ◆ Windows 8、8.1、10 では、デスクトップ以外 (モダン UI 上など) に共有画面のメニューやツール実行後のウィンドウを表示することはできません (ヘルプデスクの各ツールを使用する場合は、デスクトップ画面から実行してください。)
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に ISL Light で接続した場合、「セッション再接続を有効にする」は使用できません。
- ◆ プロダクトログインページの[ユーザー]>[詳細設定]で Mac アドレスを使用したフィルタリングの設定を行っている場合は、そのユーザーでログインした際「ワンタイム接続」のページはご利用いただけません。

【ISL AlwaysOn 2.2.7】 for Windows

● 新機能

- ◆ 接続オプションに「ファイルボックスを非表示にする」を追加しました。(有効にして接続すると接続先の PC 上の「ファイルボックス」が非表示になります)
- ◆ プロダクトログインページ (ISL AlwaysOn) のデザインを変更しました。
- ◆ プロダクトログインページで一斉グルーピングが実行できるようになりました。(ISL Conference Proxy の管理画面 > File storage で事前に設定ファイルを取り込む必要がなくなりました)
- ◆ プロダクトログインページで任意の複数端末に対して一斉にアクション (削除、履歴、アップグレード、パスワード変更、システム情報) が実行できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ ISL AlwaysOn で使用している exe のデジタル証明書の署名アルゴリズムを、SHA-2 に変更しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、プロダクトログインページのプロフィールの Email アドレス変更時にログインパスワードの入力が必要になりました。
- ◆ ISL AlwaysOn の上書きインストール実行時に表示される確認メッセージを非表示にしました。
- ◆ 設定 > 基本設定でインビテーションコードを入力してリモートユーザー追加できない現象を解消しました。
- ◆ 設定 > 詳細設定 > 接続で「コネクションテスターを起動」が動作しない現象を解消しました。
- ◆ プロダクトログインページで複数端末を対象にした「Exe 実行」および「シャットダウン」の機能を廃止しました。
- ◆ プロダクトログインページのクライアント PC の「編集」画面の、アイコン画像の変更および共有コンピューターの「ユーザーの選択」ボタンを廃止しました。
- ◆ プロダクトログインページのその他 > 履歴から、端末の接続履歴を XML 形式でエクスポートする機能を廃止しました。
- ◆ 一部のタブレット PC で、デスクトップ共画面を回転表示できない現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、セッションが正常に終了できない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、高速接続で接続後にファイル転送を一時停止して再開するとファイルが正常に送信できなくなる現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、VMware Horizon View のエージェントがインストールされている端末に接続を行うとマウスの操作切替が正常に行われず現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、Windows 8 以上の端末に対してデスクトップ共有を実行中、接続先が無操作で画面更新がない場合にマウスカーソルが正常に表示されない現象を解消しました。
- ◆ サーバーとの通信データ量を削減しました。

● 制限事項

- ◆ Windows XP 端末に対して Windows リモートデスクトップ接続を行った後、接続ができなくなります。(2017.9.28 追記)
- ◆ 1MB を超えるサイズのテキストデータをクリップボードにコピーすると、共有画面(ISL View)が更新されない現象が発生します。(一度セッションを停止した後、再度画面共有を開始してください。)
(2017.3.8 追記)
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ プロダクトログインページの「グループ」「アクセス許可」「種類」の検索パラメータはご利用いただけません。
- ◆ プロダクトログインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文字化けします。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、「共有しているユーザー」横の「歯車」ボタンをクリックしてユーザーの共有を解除することはできません。
- ◆ プロダクトログインページの[その他]> [シャットダウン] のアクション選択で「シャットダウン」の機能は現在ご利用いただけません。(2016.08.31 追記)
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません

【ISL Groop 3.0.3】 for Windows

※前回リリース時から変更点はありません。

● 制限事項

<ISL Groop メインウィンドウ>

- ◆ エクスポートを行う場合は、Microsoft PowerPoint 2007 以上が必要です。(Office 2003 のエクスポートは対応していません)
- ◆ Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルのエクスポートはできません。
- ◆ Microsoft PowerPoint 2013 がインストールされている端末では、Office Open XML 形式(拡張子が「.pptx」)の PowerPoint ファイルのインポートはできません。

<プロダクトログイン画面>

- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]を選択後に表示される、「参加可能なユーザー」>「認証済ユーザーのみ」は現在使用できません。
- ◆ アクション欄の[その他]>[編集]>[詳細設定を開く]を選択後に表示される、「他のユーザーが参加した際、ホストに Email で通知する」のオプションは現在使用できません。
- ◆ ページ内の一部に英語が表示されます。

【ISL Light 4.0.4、ISL Light Client 4.0.4】 for Mac

※前回リリース時からプログラムに変更はありませんが、プラグインの更新により一部制限事項が解消されました。

● 新機能

- ◆ ISL Online の動画再生プログラム、ISL Player が 4.0 にバージョンアップしました。
- ◆ ISL Player の app を Mac PC 内にインストールできるようになりました。
- ◆ ISL Light 4 のインストールおよびログイン画面のロゴ画像が変更できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ ISL Light 4 の上書きインストール実行時に表示される確認メッセージを非表示にしました。
- ◆ Mac OS X 10.10(Yosemite)に接続して画面共有を行った場合、Dock が点滅して表示される現象を解消しました。
- ◆ ISL Player のクイックスタート画面で「インストールする」をクリックすると、エラーが表示されてインストールできない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、Mac 端末に常駐接続（高速接続）で接続を行った際にデスクトップ共有が行われないことがあった問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、自動レコーディングを有効にした状態で管理者権限で UAC を有効にしている端末に接続を行うと、共有画面が表示されない問題を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ビデオチャットおよび音声チャットには対応していません。
- ◆ 遠隔プリント、アプリケーション共有、右クリックによるファイル転送には対応していません。
- ◆ 設定内の「詳細設定」「ダッシュボードのタブを非表示する」「ダッシュボードの表示を無効にする」「パスワードを忘れた場合を非表示にする」「サーバーの選択を非表示にする」「サインアップを非表示にする」は利用できません。
- ◆ 設定内の「基本設定」>「デスクトップ共有中にローカルユーザーの入力を禁止する」は利用できません。
- ◆ クライアントが ISL Light 4 からワンタイム接続を行った場合、管理者モードは利用できません。
- ◆ ファイル転送によるフォルダの「置き換え」はクライアントが Mac PC の場合は利用できません。
- ◆ クライアントが Mac (ISL Light 4.0.4 あるいは ISL AlwaysOn 2.2.3 を利用中) の場合、ファイル転送で送信した「フォルダ」はゴミ箱に移動できません。
- ◆ 「Ctrl + Alt + Del の送信」「Win + L」「Win + R」はクライアントが Windows の場合のみ実行できます。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「品質を優先する」「トータルコント

ルールを有効にする」の接続オプションは、クライアントが Windows の場合のみ実行できます。

- ◆ ブラックスクリーンは Windows 8、8.1、10、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 には対応しておりません。
- ◆ クリップボードが有効の場合、日本語をクリップボードで保存して ISL Light Client を使用しているクライアント側で貼り付けを行うと文字化けが発生します。
- ◆ Windows リモートデスクトップで接続中の端末に接続した場合、「セッション再接続を有効にする」はご利用いただけません。
- ◆ 常駐接続のアクセスパスワードの入力に制限回数はありません。(メッセージが表示されますが続けて入力できます)
- ◆ ISL Light 4 から接続した場合は、常駐接続 (ISL AlwaysOn) の MAC アドレスによるアクセスフィルタ条件は適用されません。
- ◆ セッション転送はセッションの転送先が Mac の場合ご利用いただけません。
- ◆ セッションの転送先が Windows の場合、起動するオペレータ用のプログラムは ISL Light Desk 4.0.2 となります。
- ◆ メッセージの一部に英語が表示されます。

※補足

ISL Light 4 の常駐接続の仕様は、インストールしている ISL AlwaysOn に準拠します。

ISL Light 4 の常駐接続の制限事項については、ISL AlwaysOn の各バージョンの制限事項をご参照ください。

【ISL Light Desk 3.3.5】 for Mac

※前回リリース時からプログラムに変更点はありません。

● 制限事項

- ◆ プロダクトログインページ上で、セッションの一時停止/再開を行うことはできません。
- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ 以下の機能は実行できません。(※1)
 - 「音声チャット」、「ビデオチャット」、「アプリケーション共有」、「スクリーンショットの取得」、「セッション再接続」、「Ctrl+Alt+Del の送信」、「ブラックスクリーンモード」、「遠隔プリント」 (一部の機能は接続される側の端末が Windows の場合、Mac 端末からでも実行できます)
- ◆ 設定ダイアログ内の一部機能は利用できません (※1)。
- ◆ 画面共有時の「画面の色」は「ZRLE のフルカラー、ハイカラー、256 色、64 色、8 色」のみご利用いただけます。
- ◆ ファイル同期を実行後に「開く」を選択した場合、ファイルではなくフォルダが開きます。
- ◆ 全角文字を含んだフォルダ内に保存されたファイルを、UI 上の[ファイル転送]の「送信」または「受信」を選択し、Mac マシンから転送を行うと、エラーメッセージが表示されます (※1)。
- ◆ ログファイルを取得する際、テキストエディットのエンコーディングの設定がデフォルト値 (自動) になっている場合は、エラーメッセージが表示されます (※2)。

※1 詳細は、ヘルプデスク (ISL Light) マニュアルをご参照ください。

※2 Mac 端末からログを取得する方法に関しては、ヘルプセンター (ワンタイム接続に関する質問) ページをご参照ください。

【ISL AlwaysOn 2.2.7】 for Mac

● 新機能

- ◆ Mac OS X 10.11 (El Capitan) への接続に対応しました。
- ◆ 画面共有開始時に接続先の PC で自動的にレコーディングを開始できるようになりました。
- ◆ レコーディングファイルを Mac の PC で再生できるようになりました。
- ◆ 接続オプションに「ファイルボックスを非表示にする」を追加しました。(有効にして接続すると接続先の PC 上の「ファイルボックス」が非表示になります)
- ◆ プロダクトログインページ (ISL AlwaysOn) のデザインを変更しました。
- ◆ プロダクトログインページで一齐グルーピングが実行できるようになりました。(ISL Conference Proxy の管理画面 > File storage で事前に設定ファイルを取り込む必要がなくなりました)
- ◆ プロダクトログインページで任意の複数端末に対して一齐にアクション (削除、履歴、アップグレード、パスワード変更、システム情報) が実行できるようになりました。

● 変更・修正事項

- ◆ ISL AlwaysOn で使用している exe のデジタル証明書の署名アルゴリズムを、SHA-2 に変更しました。
- ◆ セキュリティ強化のため、プロダクトログインページのプロフィールの Email アドレス変更時にログインパスワードの入力が必要になりました。
- ◆ ISL AlwaysOn の上書きインストール実行時に表示される確認メッセージを非表示にしました。
- ◆ 設定 > 基本設定でインビテーションコードを入力してリモートユーザーの追加ができない現象を解消しました。
- ◆ 設定 > 詳細設定 > 接続で「コネクションテスターを起動」が動作しない現象を解消しました。
- ◆ プロダクトログインページで複数端末を対象にした「Exe 実行」および「シャットダウン」の機能を廃止しました。
- ◆ プロダクトログインページのクライアント PC の「編集」画面の、アイコン画像の変更および共有コンピューターの「ユーザーの選択」ボタンを廃止しました。
- ◆ プロダクトログインページのその他 > 履歴から、端末の接続履歴を XML 形式でエクスポートする機能を廃止しました。
- ◆ 一部のタブレット PC で、デスクトップ共画面を回転表示できない現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、セッションが正常に終了できない問題を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、高速接続で接続後にファイル転送を一時停止して再開するとファイルが正常に送信できなくなる現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、VMware Horizon View のエージェントがインストールされている端末に接続を行うとマウスの操作切替えが正常に行われず現象を解消しました。
- ◆ 一部の環境で、Windows 8 以上の端末に対してデスクトップ共有を実行中、接続先が無操作で画面更新がない場合にマウスカーソルが正常に表示されない現象を解消しました。

● 制限事項

- ◆ ハッシュアルゴリズム「SHA-2」を利用した SSL サーバー証明書を適用している場合は、ポート 443 を使用した接続はできません。
- ◆ [ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ 「共有ファイル」はサポート対象外です。
- ◆ 「品質を優先」の接続オプションは使用できません。
- ◆ 「ブラックスクリーンを有効にする」「RDP 接続を有効にする」「メインウィンドウを非表示にする」「トータルコントロールを有効にする」の接続オプションは、リモート先 PC が Windows の場合のみ実行することができます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[デスクトップ共有]>[接続オプション]>「クライアントの同意でアクセスを許可する」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]>[ポート 80 を使用]および[ポート 443 を使用]を選択しても正常に動作しません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続オプション]および[スリープモード]は使用できません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]>[接続]の「コネクションテスターを起動」はご利用いただけません。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]では、direct, http-direct, https-direct, http-proxy, https-proxy, wstun-direct, wstun-proxy, wstun-proxy, wstun-direct のみ表示されます。
- ◆ [ISL AlwaysOn 設定]>[詳細設定]で、HTTP pac ファイルはサポートしておりません。
- ◆ Mac の端末に対して WOL 送信（スリープモードの解除）を実行後、続けて ISL AlwaysOn による接続を行った場合は、OS の仕様により使用できる機能に制限があります。詳しくはマニュアルをご参照ください。
- ◆ プロダクトログインページの「グループ」「アクセス許可」「種類」の検索パラメータはご利用いただけません。
- ◆ プロダクトログインページの「ファイル共有」に登録されたフォルダ内のサブフォルダは、当該フォルダ内が空の場合のみ削除できます。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、テキスト文書をプレビューで表示すると全角文字が文字化けします。
- ◆ プロダクトログインページの「共有ファイル」一覧で、共有ファイル（フォルダー）名が長い場合、すべてのパスが表示されません。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、「共有しているユーザー」横の「歯車」ボタンをクリックしてユーザーの共有を解除することはできません。
- ◆ プロダクトログインページのコンピューターの「編集」で、共有コンピューターの「ユーザーの選択」機能は使用できません。
- ◆ プロダクトログインページの[その他]> [シャットダウン] のアクション選択で「シャットダウン」の機能は現在ご利用いただけません。

- ◆ レコーディングファイルの ISL Conference Proxy サーバーへの自動保存を有効にしている場合は、プロダクトログインページ（常駐接続）から接続できません。
- ◆ メニュータブの一部が英語で表示されます。
- ◆ UI 上の言語変更はできません。
- ◆ 高速接続（接続オプション「ISL Light Client を利用する」がオフになっている状態）で接続を行った場合は、以下の制限事項がございます。
 - テキスト、音声、ビデオチャットは利用できません
 - 遠隔プリントは利用できません
 - 接続する側から転送したフォルダ（ファイル）は、全て接続される側のデスクトップに保存されます
 - 接続される側からフォルダ（ファイル）を転送するにはファイルボックス上にドラッグ&ドロップを行います
 - 接続オプションの「トータルコントロールを有効にする」は利用できません

製品の詳しい情報については、以下の ISL Online ウェブページをご参照ください。

<http://www.islonline.jp/>

ISL Online 開発元

XLAB d.o.o.

Pot za Brdom 100

SI-1000 Ljubljana

Slovenia, EU

URL: <http://www.xlab.si/>



ISL Online 国内総販売代理店

株式会社オーシャンブリッジ

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂 1-20-8

寿パークビル 7F

URL: <http://www.oceanbridge.jp/>

